

【第 1 号議案】

令和 3 年度事業報告及び事業収支決算報告
(令和 3 年 4 月～令和 4 年 3 月)

全国イノベーション推進機関ネットワーク

I. 令和3年度事業報告

「今後の全国イノベーション推進機関ネットワークのあり方について」（令和2年9月29日ワーキンググループ最終報告）に基づく新たな事業展開に努め、地域産業支援プログラム表彰事業（イノベーションネットアワード）の着実な実施と更なる発展に向けた取組の強化、情報提供・情報発信の拡大・強化、最終報告において新たに取り組むべきとされた各種事業（国との対話の場の設定、人材育成等）の拡大・強化などに取り組んだ。

なお引き続き、新型コロナウイルス感染症に係る感染防止の観点から、必要な対策を取りながら事業を実施した。

1. イノベーションネットアワード等、イノベーション活動活性化事業

（1）イノベーションネットアワード事業の実施

1）第10回地域産業支援プログラム表彰事業（イノベーションネットアワード2021）

前年度令和3年3月16日に実施した全国イノベーション推進機関堀場雅夫賞の選考委員会及び令和3年4月16日に開催した地域産業支援プログラムの審査委員会の結果を踏まえ、令和3年6月22日に新型コロナ感染拡大防止に十分留意したうえで、表彰式をオンライン開催した。

イノベーションネットアワード2021受賞者一覧

受賞名	機関名	事業名
経済産業大臣賞	株式会社まちづくり松山	地域が持続的発展を実現するために必要な金流・商流・人流の地域デジタルマーケティングインフラ構築事業
文部科学大臣賞	国立大学法人東北大学未来科学技術共同研究センター	研究成果の実用化を促進する産学連携モデルの提供と東日本大震災からの復興支援等を通じた社会実装の実践
農林水産大臣賞	五島市商工会	五島列島の地域微生物資源「五島つばき酵母」開発・応用事業による地域産業振興支援
全国イノベーション推進機関ネットワーク会長賞	株式会社あつまるホールディングス	新たなシルク蚕業を創生するプロジェクト『SILK on VALLEY YAMAGA』
一般財団法人日本立地センター理事長賞	公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構	「次世代自動車センター浜松」による次世代自動車ビジネス獲得のための、輸送用機器産業関連の地域中小企業に対する支援事業
優秀賞	みせるばやお	まちの井戸端会議から生まれる共創イノベーション ～誰もがいつでも気軽にクリエイティブを！～
	国立大学法人島根大学次世代たたら協創センター（NEXTA）	次世代たたら協創センター「NEXTA」を中心としたオープンイノベーションの拠点づくり
	熊本県次世代ベンチャー創出支援コンソーシアム	KUMAMOTO TECH PLANTER（熊本テックプランター）
全国イノベーション推進機関ネットワーク堀場雅夫賞	中島 浩一郎 氏（銘建工業株式会社 代表取締役社長）	

2）第11回地域産業支援プログラム表彰事業（イノベーションネットアワード2022）

令和3年10月8日から募集を開始、地域産業支援プログラム表彰、地域産業支援者（個人）を対象とした「全国イノベーション推進機関ネットワーク堀場雅夫賞」のいずれについても、更なる応募の拡大、広報の強化、成果普及活動の強化などに取り組み、プログラム表彰49件、個人表彰10件の応募を得た。令和3年3月9日に開催した全国イノベーショ

ン推進機関ネットワーク堀場雅夫賞・選考委員会にて 1 名の受賞者を選定、また、令和 4 年 4 月 12 日に開催予定の地域産業支援プログラム表彰・審査委員会にエントリーする 10 件のプログラムを選定した。

(2) イノベーションネットアワード受賞事例の普及

受賞事例を広く普及させ、地域産業支援等に関わる方々に参考としてもらえるよう、イノベーションネットアワード 2021 の受賞事例を加えてホームページに掲載した。特に主な受賞事例（2020 経済産業大臣賞のまちづくり松山）については、十分な広報効果が得られるように WEB メディアの活用等、情報発信方法の充実を図り、一定の効果を果たした。

また、地域イノベーション・地域産業の活性化支援に携わっている方々向けに、事例ごとの成功要因分析を行い、受賞事例の普及啓発に向けた広報活動の更なる深化を図った。あわせて、受賞事例を題材とした会員交流セミナー（詳しくは後掲）を開催した。

2. ネットワークの活用・強化事業

(1) 情報提供・情報発信の強化

ホームページでの情報発信を適宜行ったほか、メールマガジン（イノベネット TIMES）を基本的に隔週で配信した。また、日本立地センターが発行する機関誌「産業立地」において地域イノベーションに係る内容を「イノベーションネット通信（2021 年 7 月号：アワード 2021 表彰式開催報告、2021 年 11 月号：アワード 2021 経済産業大臣賞まちづくり松山紹介記事、2022 年 1 月号：アワード受賞事例成功要因分析記事）」として掲載、正会員・学術機関会員等へ送付した。

(2) 地域の諸課題・要望等を踏まえた国等との政策対話等の実施

地域の課題やニーズを政策に反映させていくため、三省（文部科学省、農林水産省、経済産業省）等、国・関係機関等から施策紹介等を受けながら、地域の諸課題や要望を国等に伝え、意見・情報交換する場をオンラインで設けた。また、原山審査委員長による特別セミナー及びアワード受賞事例を題材とした会員交流セミナーを開催した。

◆政策対話セミナー

1) 第 1 回（令和 3 年 6 月 15 日オンライン開催）

テーマ：「スマートかつ強靱な地域経済社会の実現に向けた研究会報告」

講師：前田 博貴氏（(前)経済産業省地域経済産業グループ地域企業高度化推進課長）

2) 第 2 回（令和 3 年 10 月 13 日オンライン開催）

テーマ：「令和 4 年度予算・概算要求」

講師：経済産業省・文部科学省・農林水産省

◆特別セミナー（令和 3 年 9 月 1 日オンライン開催）

テーマ：「地域とイノベーションの接点を再考する」

講師：原山 優子氏（(前)理化学研究所理事・アワード審査委員長）

◆会員交流セミナー（令和 4 年 2 月 3 日オンライン開催）

テーマ①：「アジア留学生ビジネスネットワーク構築支援事業」

講師①：長森 定好氏（岡山県産業振興財団 専務理事）

藤田美穂子氏（同 総務企画課長）

テーマ②：「よい仕事おこしネットワーク」

講師②：川本 恭治氏（城南信用金庫 理事長）

（３）人材養成研修の実施

産業支援機関では、プロパー人材の強化が共通の課題として位置づけられていることから、中小機構と連携して、オンライン形式での人材養成セミナーを３回実施した。

◆第１回（令和３年５月１３日オンライン開催）

テーマ：「with コロナ環境下における産業支援について」

講師：古川 忠彦氏（中小機構・中小企業アドバイザー）

◆第２回（令和３年１２月８日オンライン開催）

テーマ：「地域中小企業へのＩＴ導入支援の手法」

講師：吉田 明弘氏（中小機構・中小企業アドバイザー）

◆第３回（令和４年３月３日オンライン開催）

テーマ：「地域中小企業とＤＸ～推進の意義と導入支援の手法」

講師：吉田 明弘氏（中小機構・中小企業アドバイザー）

（４）ネットワークの拡大

全国大の有用なネットワークの充実を図るため、引き続き地域の産業支援機関、大学、金融機関、公設試験研究機関（公設試）に対して入会の働きかけを行い、正会員１機関（植物工場研究会）、公設試会員３機関の新規入会を得た。

３．その他協力事業

会員等が主催する新事業支援を目的とする事業について、その要請に基づき後援し、開催の周知に協力した。

内容	主催機関	対象催事
後援	独立行政法人 中小企業基盤整備機構 (幹事機関)	JVA2021 (Japan Venture Awards 2021) 革新的かつ潜在成長力の高い事業や、社会的課題の解決に資する事業を行う、志の高いベンチャー企業の経営者を称える表彰制度。 募集期間：令和３年７月１日～８月２３日 表彰式：令和３年１２月１７日(ライブ配信)

Ⅱ．事業収支決算報告

令和３年度事業収支決算（令和３年４月１日～令和４年３月３１日）は、以下のとおり。

（単位：円）

科 目	予算額	決算額	内 訳	差 異
収入の部				
会費収入	4,125,000	3,825,000	正会員 @50,000×2 口×35 機関 3,500,000 @50,000×1 口×2 機関 100,000 学術機関会員 @15,000×15 機関 225,000	▲300,000
収入合計	4,125,000	3,825,000		▲300,000
支出の部				
事業経費	3,712,500	3,457,063	イノベーションネットアワード等イ 2,523,804 ノベーション活動活性化事業 ネットワークの活用・強化事業 933,259	▲255,437
事務局経費	412,500	367,937		▲44,563
支出合計	4,125,000	3,825,000		▲300,000
収支差額	0	0		0